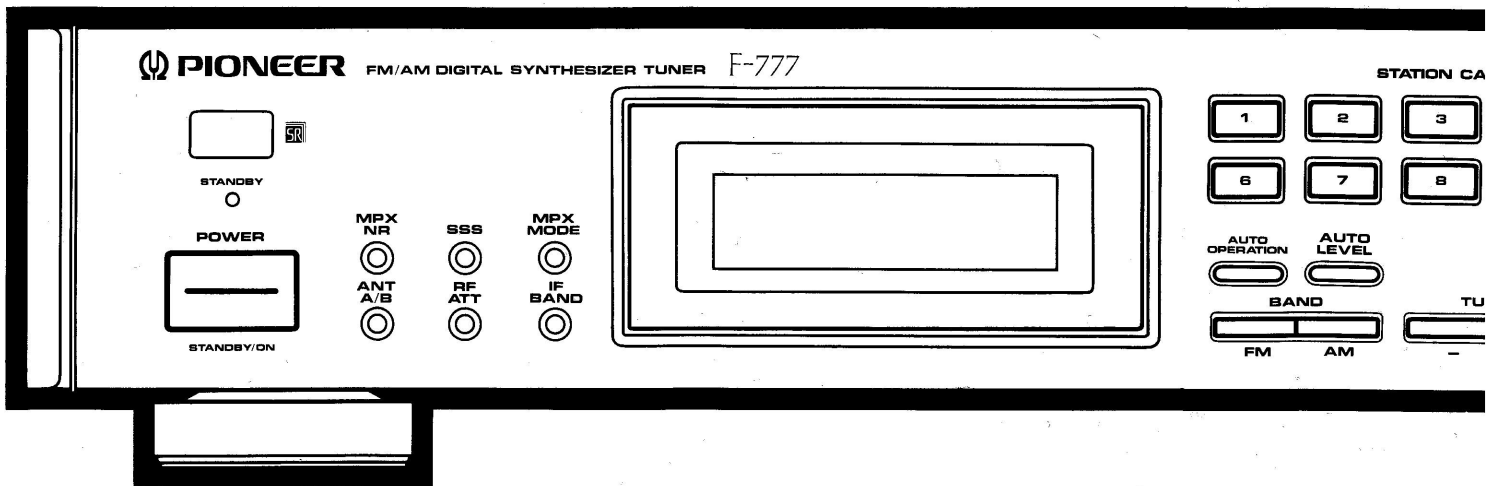


取扱説明書

F-777

FM/AMデジタルシンセサイザー・チューナー



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。

特に「使用上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになった後は「保証書」「サービス窓口、ご相談窓口」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

安全のために！

本文中に記載されているこの表示は、誤った使い方をした場合、あなたや他の人々に危険をおよぼすおそれのあることについて書かれています。

注意深くお読みください。

PIONEER
— 音と光の未来をひらく —

目 次

使用上のご注意	3
特長	4
付属品の確認	4
リモコンに電池を入れる	5
接続	6
名称と機能	8
操 作	
FM/AM放送をきく	12
オートレベルをセットする	13
ファインチューニングをする	14
オートオペレーションをする	14
ダイレクトアクセスチューニングをする	15
FM/AM放送のプリセット選局	16
プリセットメモリーの方法	16
プリセットメモリーでの選局	17
故障?と思うまえに	18
アフターサービス	19
仕様	裏表紙

使用上のご注意

安全のために！

故障や火災・感電を未然に防ぐために必ずお守りください



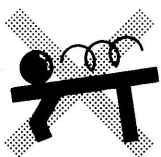
■湿気やホコリの多い所へは置かない

湿気やホコリの多い所、調理台のそばなど油煙や蒸気が当たる所には置かないでください。



■暖房器具の近くには置かない

ストーブなどの発熱体のそばや直射日光の当たる所に置かないでください。



■不安定な所や振動のある所へは置かない

傾いた所や振動のある所、ぐらつくような台の上には置かないでください。落ちたり、倒れたりして危険です。



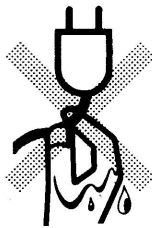
■液体をこぼさない

本機の上に水の入ったコップや花瓶、金魚鉢、化粧水などを置かないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。



■分解しない

本機のキャビネットははずさないでください。電圧の高い部分がありますので内部をさわると感電するおそれがあります。改造は発煙、発火の恐れがありますので絶対にしないでください。お客様の改造による性能の劣化や故障は当社では責任を負いません。



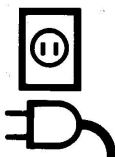
■電源コードは引っ張らない

電源コードの抜き差しは電源プラグを持って行ってください。また、ぬれた手で取り扱っていると、感電の恐れがあります。電源コードは製品や家具などの下に敷いたり、物にはさんだりしないでください。また、他のコードを巻き足したり、往来の激しい場所に放置しないでください。コードを損傷させ、感電や火災の恐れがあります。電源コードはときどき点検して、傷んでいたら交換を依頼してください。



■異常に気がいたら電源プラグを抜く

万一、異常な音やにおい、煙が出たときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。



■長時間使用しないときは電源プラグを抜く

外出、旅行などで長時間留守にされるときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



■乾電池の誤った使い方をしない

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください（電池の注意事項もよく見てください）。

・乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを

電池ケースの表示通りに正しく入れてください。

- ・新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・長い間（1か月以上）使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。



■交流100ボルト以外では使用しない

本機は日本国内専用仕様（交流100^{ボルト}）です。クーラー用などの200Vコンセントには接続しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源にも使用できません。

● 本機の修理および内部の点検、調整はパイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお買い上げの販売店にご依頼ください。

特長

■AMステレオ放送対応

■NORMALノーマルとSUPER NARROWスーパーのIFバンド
切替ボタン

■デジタルダイレクトデコーダー(D.D.D.)の採用による高S/N

■FM電波が強すぎる場合でも、適正な受信ができるようにRFアッテネーターを内蔵、ボタン操作でアッテネーター量の切替えが可能

■クラス別機能によるFM・AM合計40局までランダムプリセットが可能

■ダイレクトアクセスチューニング、ファインチューニング、オートオペレーション機能

■振動減衰特性のすぐれたハニカムシャーシを採用

■大型インシュレーター

■ステレオ放送の雑音を減少させるマルチプレックスノイズリダクションを内蔵、ボタン操作でON/OFFが可能

■モノラル放送を疑似ステレオとして出力するスペクトラムシミュレーテッドステレオ(SSS)機能

付属品の確認

●FM T字型アンテナ



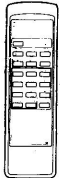
●AMループアンテナ



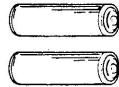
●ピンプラグ付接続コード



●リモートコントロールユニット



●単4乾電池2本
(R03/UM-4)



●変換プラグ

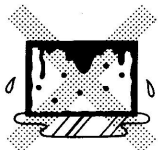


●保証書

●サービス窓口・ご相談窓口

●取扱説明書

結露について

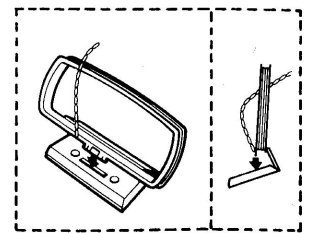
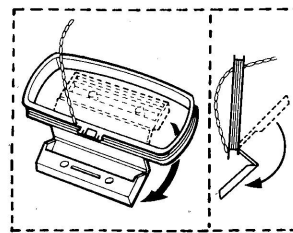


本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

AMループアンテナを組み立てる

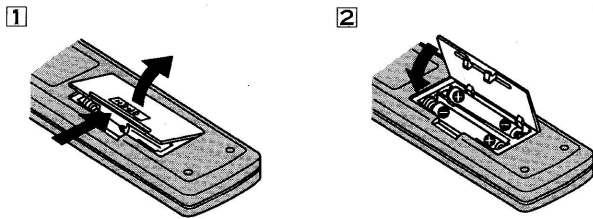
①台の部分をくると回します。

②つめを差し込みます。



リモコンに電池を入れる

- ①リモコンの裏側の電池ケースのふたを開けます。
- ②付属の単4乾電池（R03/UM-4）2本を取り出し、電池ケースの表示にしたがって電池ケースに入れます。
電池ケースのふたを閉めます。

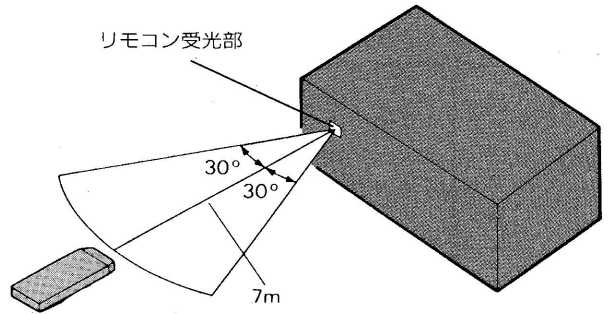


ご注意：

- 本体受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- リモコンの上に本などを置かないでください。ボタンが押され続けて、乾電池が消耗してしまうことがあります。

リモコンの操作可能範囲

リモコン受光部から約7m、角度が左右に約30°以内で操作してください。



- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂するなどの危険があります。次の点について特にご注意ください。

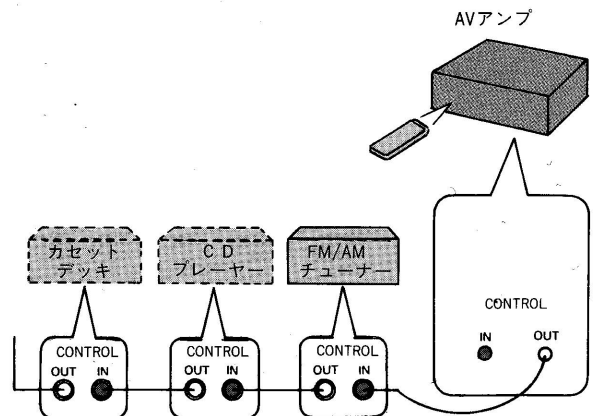
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通り正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

リモートコントロールコードの接続

- マークが付いていて、コントロール入出力端子を持ったパイオニア製品（AVアンプ、FM/AMチューナー、CDプレーヤー、カセットデッキ等）を市販のモノラルミニジャック付コード（抵抗なし）を使って接続すれば、中心となる機器（AVアンプなど）のリモコン受光部をシステム全体のリモコン受光部としてリモコン操作ができます。右の図に一例を示します。必ず“OUT”と“IN”を接続してください。接続の順番には、特にきまりはありません。ただし、IN端子だけしかない機器への接続は最後に行ってください。

ご注意：

本機の CONTROL IN 端子にプラグを差し込むと本機のリモコン受光部は使用できなくなります。IN端子に接続した機器のリモコン受光部を使用してください。



接続

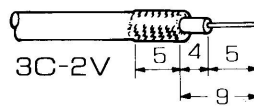
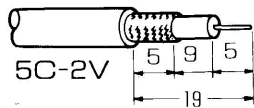
■付属のFM T字型アンテナ

■FM屋外アンテナ

1. 75Ω同軸ケーブルを下図のように加工する。(単位:mm)

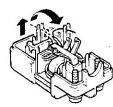
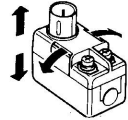
●外被をむいて芯線を出す

●網線を外側に折り返す



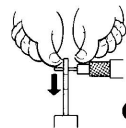
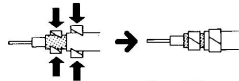
2. 加工した同軸ケーブルを下図のように付属の変換プラグに取り付ける。

① ツメをかるく外側に開きながらカバーをはずす。 ② リード線を上にあげ、一度はずしてから図のようにさしかえる。



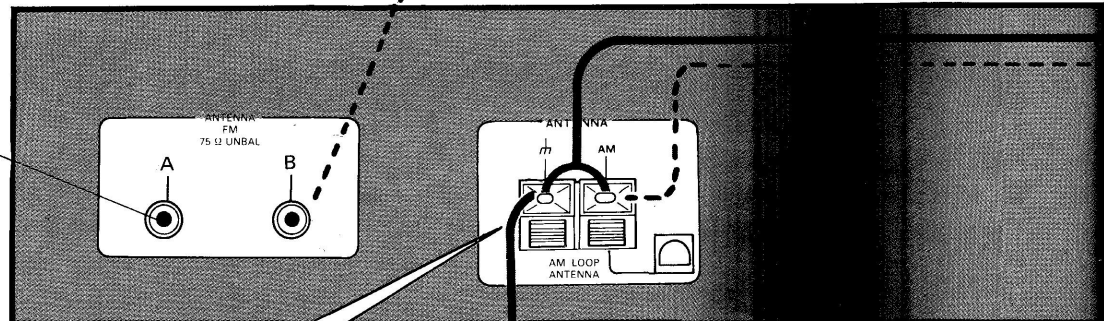
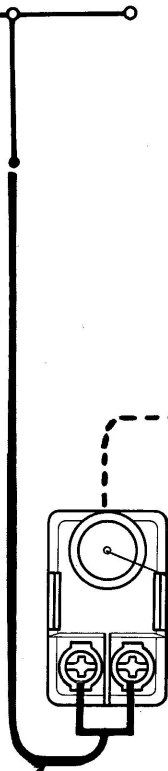
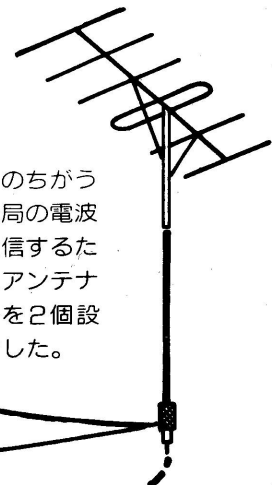
④ ラジオペンチや指で芯線を押しこむ。(5C-2Vと3C-2Vでは押しこむ深さが違いますのでご注意ください。)

③ 加工済みのケーブルをのせ、ラジオペンチなどで、クランプをしめる。

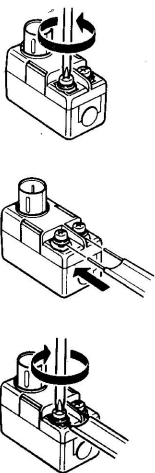


⑤ ふたをはめる。

● 方向のちがう放送局の電波を受信するためにアンテナ端子を2個設けました。

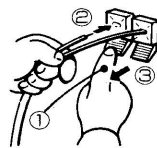


付属のFM T字型アンテナまたは300Ωフィーダーを使うときは変換プラグに接続して75ΩUNBAL端子に差し込みます。



ループアンテナの接続

- ① 押し下げる
- ② 穴にコードを差し込む
- ③ 指を離す



■アンテナアース

接続しなくても放送は受信できますが、FM屋外アンテナを設置したときは、雷の対策としてアースをしてください。

また雑音除去のためにもなるべくアースをすることをおすすめします。

※ ガス管には絶対に接続しないでください。ガスに引火することがあり危険です。

この端子はアンテナ等を接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。



■AMループアンテナ

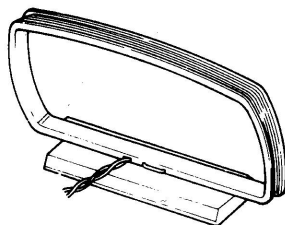
- FM放送の特徴はAM放送と比べて音質の良いことです。そのFM放送の特徴をいかすには、FM専用アンテナを使用してください。電波の弱い地域では、電界強度に応じて多素子アンテナの3素子、5素子、7素子のアンテナを使用してください。

- 水平面上でアンテナをセットし、電波受信が最良となる方向に向けます。
- ボンネットの上やその他の金属物、CDプレーヤー、パソコン、テレビなどのそばにアンテナを置かないで下さい。

※アンテナをつながないとAM放送を受信できません。

●AM外部アンテナ

AMループアンテナの位置や方向を変えても放送が良好に受信できないときは、AM室内アンテナまたはAM屋外アンテナをAM端子に接続してください。AM室内アンテナまたはAM屋外アンテナを接続した場合も、AMループアンテナは必ず接続しておいてください。



AM屋外アンテナ



※弊社のリモートコントロール信号の入出力端子です。弊社のSRマーク付きのアンプなどと組み合わせて、アンプのリモコン受光部を本機のリモコン受光部としても使用できます。(5ページ参照)

■電源コードの接続

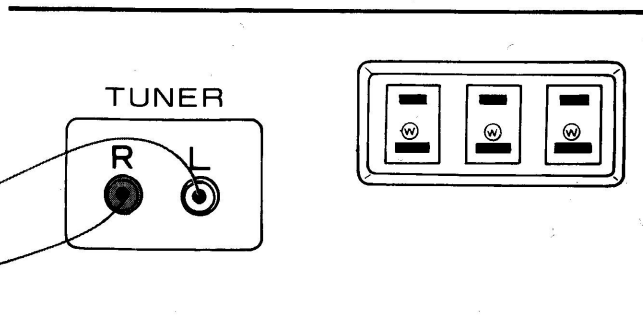
本機は電源の極性管理がされていますので、次の方法で接続することをおすすめします。白線側がアース側になっていますので、本機の電源コードの白線側と極性管理されたアンプのアース側、または家庭用コンセントの溝の長いほうに合わせて差し込みます。

- 本機の出端子とピンプラグ付き接続コードの端子は、音質重視設計のために、光沢のないスズを使用しています。

■ピンプラグ付き接続コードの接続

- 白いプラグは白い端子(L)に、赤いプラグは赤い端子(R)につなぎます。
- プラグは必ず奥まで差し込みます。

ステレオアンプ



名称と機能

マルチプレックスノイズリダクションボタン

マルチプレックス ノイズリダクション
(MPX NR)

MPX NR インジケータが点灯します。

FMのとき：ステレオ放送で雑音が多いときにこのボタンを押します。ノイズが低減され、聞きやすくなります。MPX NRをONにするとマルチプレックスモードがAUTOになります。

AMのとき：ステレオ及びモノ放送のとき MPX NR をONにするとノイズが低減され、聞きやすくなります。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

マルチプレックスモードボタン

マルチプレックス モード オート モノ
(MPX MODE AUTO/MONO)

ボタンを押すごとに次のように変化します。

→**AUTO**：ステレオ放送は自動的にステレオになります。

AUTO インジケータが点灯します。通常はこの位置にします。
(AUTO にすると電波がきわめて弱いときミュートングをかけているため、ノイズ(ザーという音)が出ません。)

→**MONO**：ステレオ放送も強制的にモノラルにします。

MONO インジケータが点灯します。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

リモコン受光部

付属のリモコンをここへ向けて操作してください。

電源スイッチ(POWER)/ スタンバイインジケータ

電源ONのときスタンバイインジケータが消灯します。

SSSボタン/インジケータ

(SSS : Spectrum Simulated Stereo)
スペクトラム シミュレーテッド ステレオ

モノラルをシミュレーテッドステレオ(疑似ステレオ)にするボタンです。押すと**SSS** インジケータが点灯します。ステレオ放送に雑音が多くてマルチプレックスモードをMONOにしているときや、モノラル放送を聞くときにこのボタンを押すと臨場感を増すことができます。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

※SSSをONにするとマルチプレックスモードがMONOになります。

アンテナ切換ボタン(ANT A/B)

FM ANT A端子とB端子に接続した外部アンテナの選択をします。オペレーションディスプレイに選んだアンテナが表示されます。

※このボタンの設定状態はステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

RFアッテネーターボタン(RF ATT)

FM放送の電波が強すぎて音がひずんだりするとき、このボタンを押します。

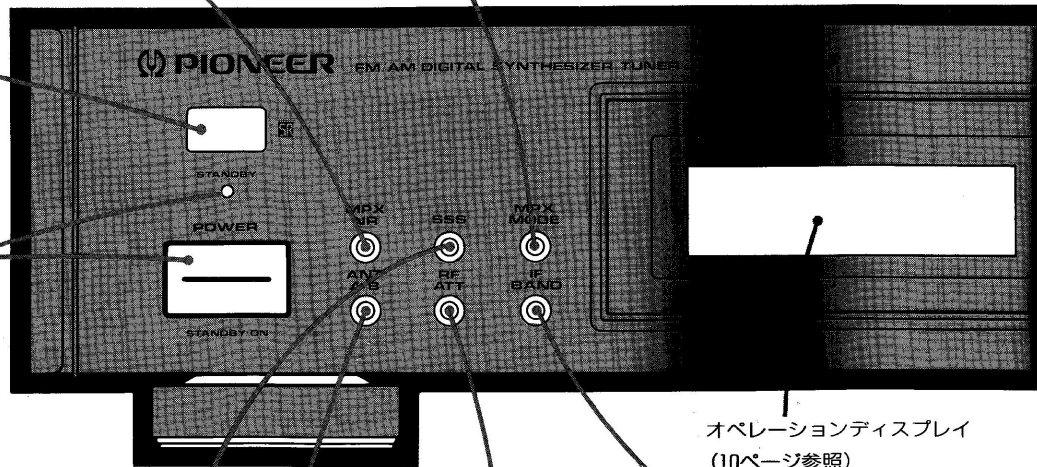
押すと**RF ATT**インジケータが点灯し、アッテネーターレベルが表示されます。(0/10/15/20dB) ボタンを押すたび

→0dB(OFF)→10dB→15dB→20dB

とアッテネーター量を変えられますので最適ポジションを選んでください。

※AM放送受信時には働きません。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。



オペレーションディスプレイ
(10ページ参照)

オートオペレーションボタン (AUTO OPERATION)

最適条件の受信状態を自動的に見つけてくれます。
※AM放送受信時には働きません。(14ページ参照)

オートレベルボタン (AUTO LEVEL)

アンテナ端子に入る信号の強さ(レベル)を指定してオートチューニングするときに使います。オートサーチレベルを、押すたびに6段階まで切替えることができます。
※AM放送受信時には働きません。(13ページ参照)

ステーションコールボタン (STATION CALL)

放送局をプリセットするとき(16ページ参照)やプリセットした放送を受信するとき(17ページ参照)、また、ダイレクトアクセスチューニングのとき(15ページ参照)に使います。

クラスボタン (CLASS)

放送局をプリセットするとき(16ページ参照)やプリセットした放送を受信するとき(17ページ参照)に、このボタンで1から4まであるクラスのいずれかを設定します。

ダイレクトボタン (DIRECT)

ステーションコールボタンを使って希望の放送局をダイレクトに呼び出すことができます。(15ページ参照)

チューニングノブ (TUNING)

手でつまみをまわしてチューニングします。(12ページ参照)

メモリスキャンボタン (MEMORY SCAN)

クラスボタンで指定したクラスに、プリセットしてある1~10chの放送局(プリセットのしかたは16ページ参照)を数秒ずつ呼び出すことができます。(17ページ参照)

バンド切換ボタン (BAND)

FM: FM放送を受信するときに押します。
AM: AM放送を受信するときに押します。

IFバンドボタン (IF BAND NORMAL/SUPER NARROW)

広帯域受信(NORMAL)と狭帯域受信(SUPER NARROW)を切替えます。
[NORMAL]または[SUPER NARROW]インジケータが点灯します。通常はNORMALにしておきます。隣接局の妨害や混信があるときにはSUPER NARROWにします。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

メモリーボタン (MEMORY)

放送局をプリセットするときに押します。押すと [MEMORY] インジケータが数秒間点灯します。その間にステーションコールボタンを押してメモリーします。

ファインチューニングボタン (FINE TUNING)

TUNING (+/-) ボタンで10kHzずつ周波数が変わります。周波数をずらすことにより妨害や混信を受けにくくします。
※AM放送受信時には働きません。

チューニングボタン

(TUNING UP(+)/DOWN(-))

希望の放送局に合わせるときに押します。表示している周波数より高い周波数の放送局を受信したいときは、UP(+)を押します。表示周波数より低い周波数の放送局を受信したいときは、DOWN(-)を押します。また、押し続けると、オートサーチを始めます。

オペレーションディスプレイ

■FM放送受信時、受信レベルが表示されます。



■FM放送受信時、“SIGNAL” が点灯し、受信レベルが表示されます。

- 信号が弱すぎるとき→“LO”が表示されます。アンテナを最良の向き位置にしてください。
- 信号が強すぎるとき→“HI”が表示されます。RF ATT ボタンを押して受信レベルを調整してください。(8ページ参照)

信号のレベル、RF ATTのレベル、ステーションコールボタンを押したときチャンネルを表示します。

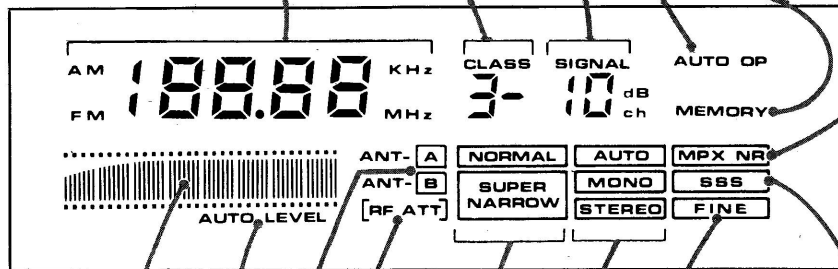
1~4のクラスが点灯します。

受信バンドと周波数を表示します。

オートオペレーション中に点滅します。

メモリーボタンを押すと、数秒間点灯します。

マルチプレックスノイズリダクションがはたらいっているときに点灯します。



受信した信号の強さを表示します。

オートレベルをセットするときに点滅します。消えたらセット完了です。

アンテナ
選択しているFM ANT端子(A/B)を表示します。

RFアッテネーターが働いているときに点灯します。

IFバンドで選んだモードが表示されます。

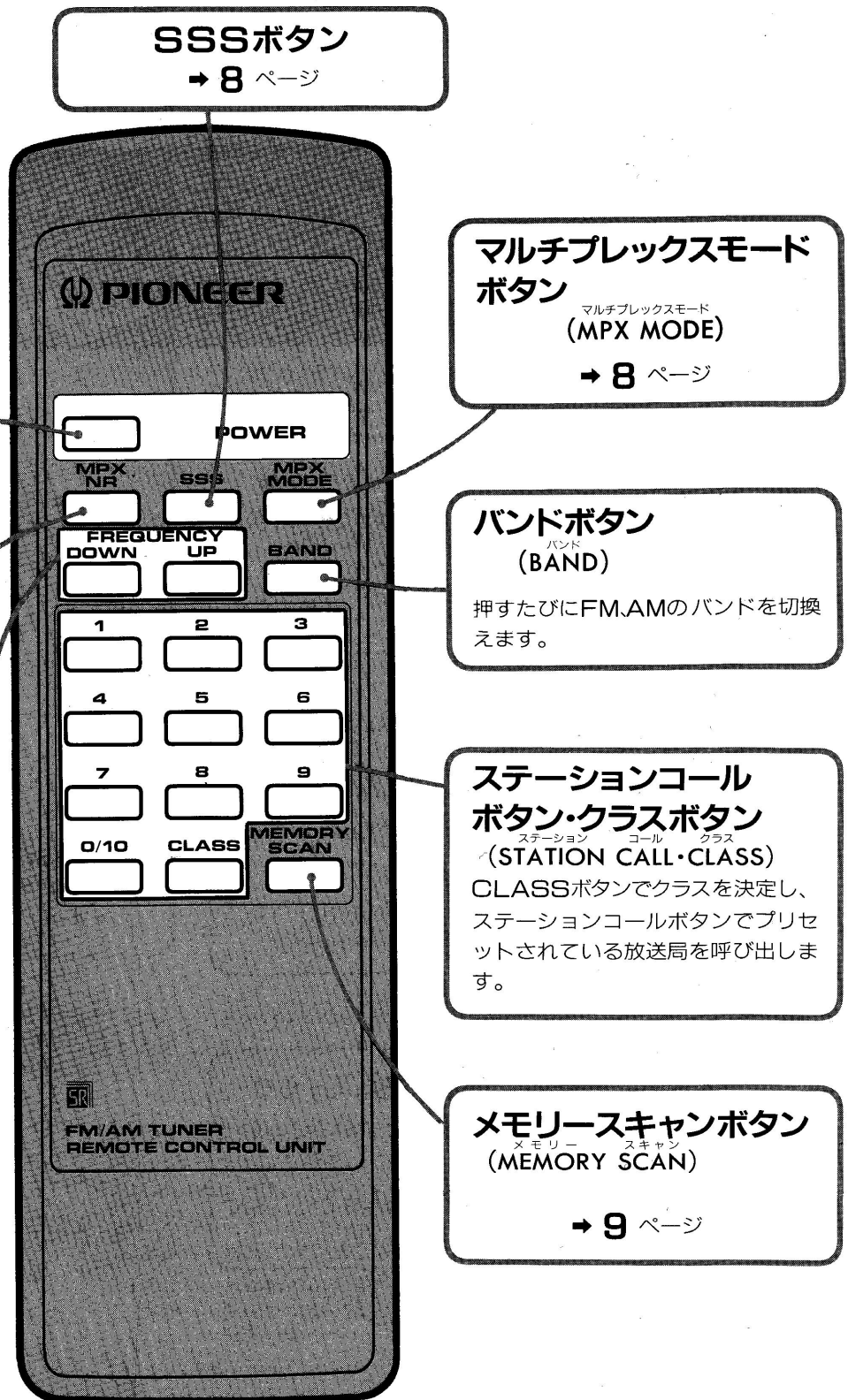
SSS(疑似ステレオ)のときに点灯します。

FM放送受信中、FINE TUNING ボタンを押したとき点灯します。

MPXモードで切換えられます。(AUTO/MONO)
STEREO:ステレオ放送のときに点灯します。

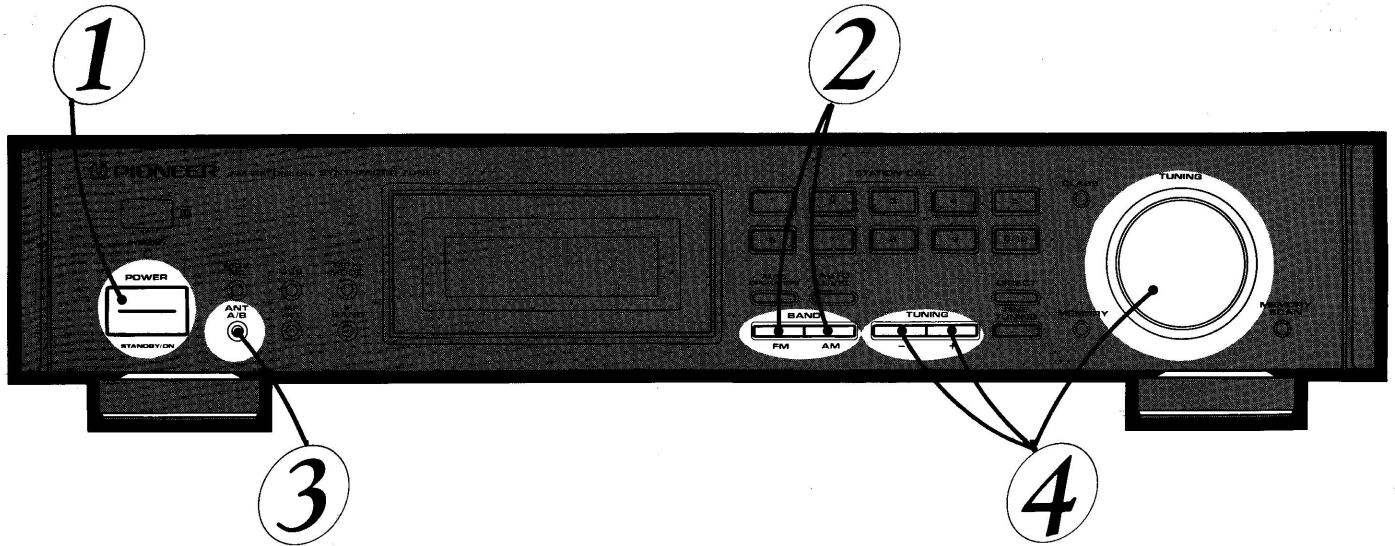
リモートコントロールユニット

説明のないボタンは本体の操作ボタンと同じ機能です。➡で示したページをご覧ください。



操作

FM/AM放送をきく



■数字の順に操作してください。①、②、④(チューニングノブを除く)はリモコンでも操作できます。

1

電源スイッチをONにする

2

バンド切換ボタンでFMバンドがAMバンドを選ぶ

- FMバンドのときは「FM」および「MHz」が点灯し、AMバンドのときは「AM」および「kHz」が点灯します。

3

FM放送のときアンテナ切換スイッチで受信する局に向いているアンテナAまたはBを選ぶ

(使用しているアンテナが一つの場合は接続している端子を選びます。)

4

チューニングをする

●マニュアルチューニング

- ・チューニングノブをまわし放送局のある周波数に合わせます。

	まわす方向
周波数UP(上)	右
DOWN(下)	左

- ・チューニングボタンのUP(+)またはDOWN(-)を押すと周波数が1ステップごと変わります。

●オートチューニング

- ・FMバンドのとき、オートレベルをセットします。(13ページ参照)チューニングボタンを押したままにすると周波数表示が動き出します。動き出したら指を離します。放送のある周波数を探し停止します。別の放送に移るにはもう一回押します。希望する放送局で止まらないときは、オートレベルをセットし直してください。

5

同一バンド内の別の放送を受信するときは、③④の操作をくり返します。また、他のバンドの放送を受信するときには、②③④の操作をくり返します。

隣接局の妨害や混信がある場合

IFバンドボタンを押して **[SUPER NARROW]** インジケータを点灯させるか、ファインチューニングボタンを使って、チューニングします。ファインチューニングについては14ページを参照してください。

FM放送を受信する場合

- ステレオ放送に雑音が入って聞きづらいときは、マルチプレックスモードボタンを押して **[MONO]** インジケータを点灯させます。モノラル受信になり、聞きやすくなります。(リモコンでも操作できます。)
- 放送の電波が強すぎて音がひずむときはRFアッテネーターボタンを押して **[RF ATT]** インジケータを点灯させます。ボタンを押すごとに次のように変わります。

→10dB→15dB→20dB→0dB(RF ATT OFF)

モノラル放送、モノラル受信の場合

(リモコンでも操作できます)

受信状態がモノラルのときSSSボタンを押してインジケータを点灯させると、疑似ステレオの効果が得られます。

シグナルインジケータ

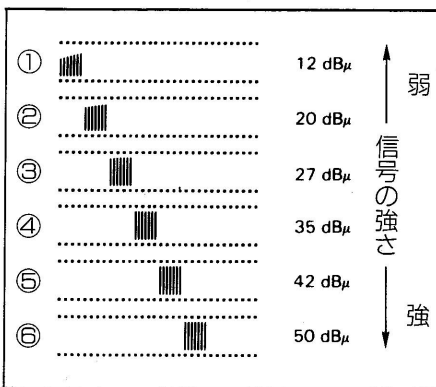


シグナルインジケータが点灯しないときは周波数が合っていないため受信できません。これはアンテナ端子の入力が弱いからです。アンテナ端子がはずれていないか調べてください。アンテナが接続されていても点灯しないときは、お近くの販売店にご相談のうえ、屋外専用アンテナを接続してください。

■オートチューニングについての注意

- 本機は高感度のため、ことに夜間では電波伝搬が良いため、微弱な海外放送局でも自動停止することがあります。また、都市雑音でも同様なことが考えられます。
- AM放送受信時、オート選局を使ってプリセット(16ページ参照)を行う場合にひんぱんに自動停止するようであれば、ループアンテナの向きを変えたり倒すことによって強力なローカル局のみオートチューニングすることができます。プリセット後はループアンテナを最良の向き、位置に戻してください。
- 微弱な放送局はマニュアル選局でプリセットしてください。

オートレベル(AUTO LEVEL)をセットする



■FM放送受信時に使うことができます。

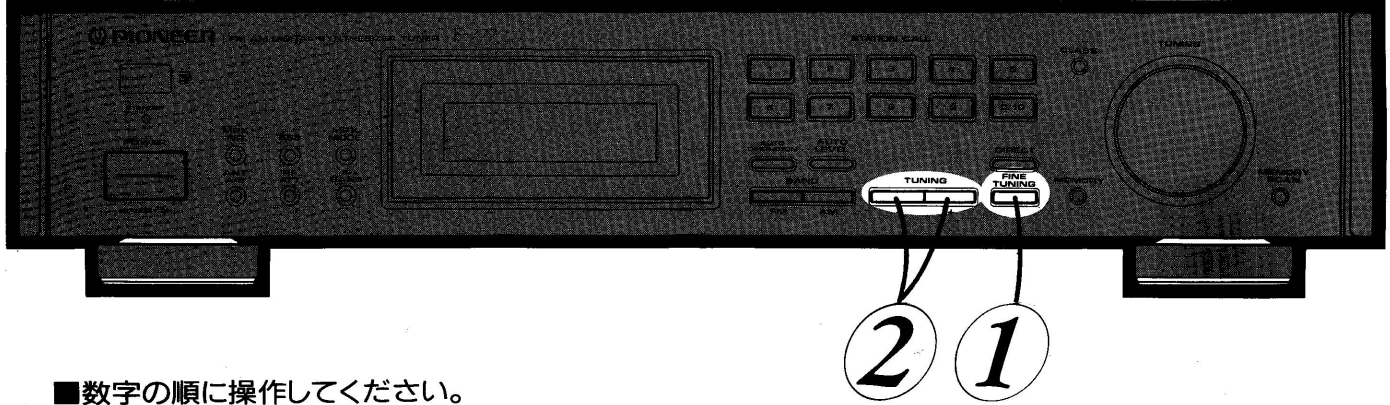
■オートチューニングをしているとき、セットしたレベルに達した信号を受信したところで自動停止します。

- ① オートレベルボタン **AUTO LEVEL** を押します。
AUTO LEVEL が点滅し、ボタンを押すたびに設定レベルが ①→②→③→④ の順で切りかわります。
- ② 点滅が消えたら、オートレベルのセット完了です。

ファインチューニング(FINE TUNING)をする

■FM放送受信時に使うことができます。

■隣接局の妨害や混信がある場合、周波数をずらして妨害を受けにくくできます。



■数字の順に操作してください。

1

希望の放送局をチューニングし
(12ページ参照)、ファインチューニング
ボタンを押す

FINE インジケーターが点灯します

2

チューニングボタン(+/-)を
押す

0.01MHz ずつ変わります。聞きやすい周
波数に合わせてください。

解除するには：

もう一度ファインチューニングボタンを押す。

オートオペレーション(AUTO OPERATION)をする

■FM放送受信時に使うことができます。

■ボタンを押すと、次のモードを自動選択して最良の受
信条件を見つけてくれます。

RFアッテネーター(10/15/20/0)

アンテナA/B

IFバンド(NORMAL/SUPER NARROW)

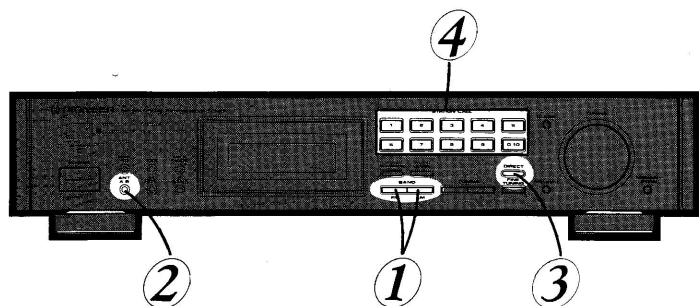
MPX NR(ON/OFF)

MPX MODE(AUTO/MONO)

■隣接局などの妨害があるときは自動的にモノラルにな
ります。

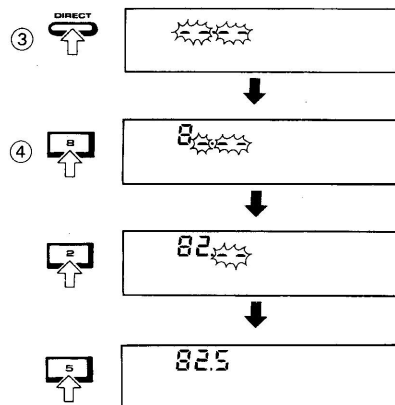
ダイレクトアクセスチューニング(DIRECT)をする

■あらかじめ周波数のわかっている放送局をステーションコールボタンを使って、直接呼び出すことができます。



■数字の順に操作してください。

(例) FM82.5MHzを受信するには…



・0.1MHzの単位までセットすると、自動的に0.01MHzの単位が0になります。

●FM放送受信中でファインチューニングがONのとき、周波数は、0.01MHzの単位まで指定できます。

1
バンド(BAND) ボタンでFMまたはAMを選ぶ

2
FMの場合はアンテナA/Bを選ぶ

3
ダイレクト(DIRECT)ボタンを押す
周波数が消え、アンダーバーが数秒間点灯します。

4
ステーションコールボタンで周波数をセットする
5秒以内にセットしないと自動的に解除します。

解除するには

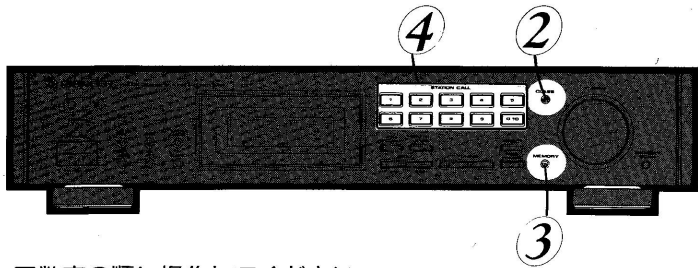
●ダイレクト(DIRECT)ボタンをもう一度押すと解除されます。

FM/AM放送のプリセット選局

■あらかじめプリセットメモリーしておいた放送局をワンタッチで正確に呼び出すことができます。

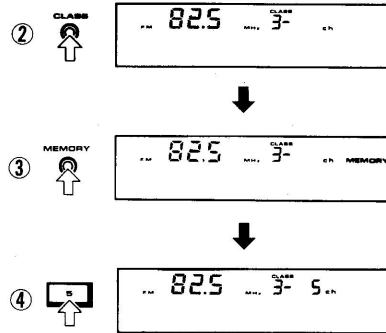
■クラスボタンとステーションコールボタンを使って、各クラス10局、合計40局までプリセットできます。

プリセットメモリーの方法



■数字の順に操作してください。

(例) FM82.5MHzをクラス3、ステーションナンバー(CH)5にプリセットするには…



1

“FM/AM放送をきく①～④、(12ページ参照)の操作を行い**希望の放送局**をチューニングする

2

クラスボタンを押す

プリセットしたいクラスを表示させます。

押すたびに $\rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4$ と切替わります。

3

メモリーボタンを押す。

●メモリーインジケータが点灯している間のみメモリーできます。プリセット操作中に消灯したときはもう一度②③の操作をくり返してください。

点灯中にこのボタンをもう一度押すと、メモリー機能が解除されます。

4

メモリーインジケータが点灯中に**希望のステーションコールボタン**を押す

- ステーションコールボタンを押すと、**MEMORY**インジケータが消灯し、メモリーが完了します。
- メモリーした放送局は、17ページのステーションメモ書き込んでおく便利です。

5

他のステーションにプリセットするときには、①～④をくり返します。

すでに放送局がメモリーされていたステーションコールボタンに新たにメモリーすると、前の放送局は消去されます。

プリセットメモリーでの選局

■数字の順に操作してください。
リモコンでも操作できます。

1

電源スイッチをONにする

2

クラスボタンでクラスをあわせ希望の
ステーションコールボタンを押す

●オペレーションディスプレイにクラスとステーション
ナンバーが表示されます。

メモリースキャン

■クラスボタンで指定したクラスにプリセットしてある
1~10chの放送局を数秒ずつ呼び出すことができます。

- ①クラスボタンでクラスを指定します。
クラスの指定のしかたは16ページを参照してください。
- ②メモリースキャンボタンを押します。
指定したクラスを1chから順に数秒ずつ呼び出して
いきます。
- ③希望の放送局が点滅したら、もう一度メモリースキャン
ボタンを押します。点滅が点灯に変わり、放送を聞
くことができます。

プリセットの注意

- 長期間使用しないときは電源コードを抜いてください。
なお、電源をOFFにしたり電源コードを抜いた場合
でも、バックアップコンデンサにより電力を供給して
いますのでおよそ1か月以内でしたらプリセットした
放送局は消去されません。
- プリセットした放送局が消えてしまったらもう一度プ
リセットしてください。

ラストワンメモリー

- 電源が切れている状態から電源ONにすると、電源を
OFFにする前に聞いていた放送局を受信します。
- 電源が入っている状態でバンド切換ボタンを押すと、
バンドを切り換える前にそのバンドで聞いていた放送
局を受信します。

ステーションメモ

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0/10
クラス1	放送局名										
	周波数										
クラス2	放送局名										
	周波数										
クラス3	放送局名										
	周波数										
クラス4	放送局名										
	周波数										

故障?と思うまえに

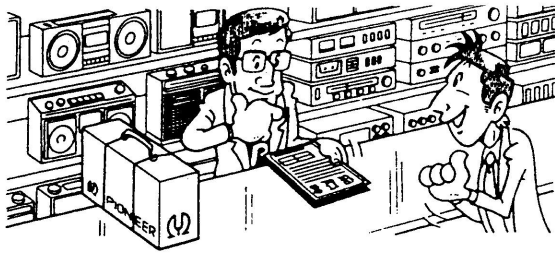
故障かな?……と思ったら、症状に合わせて下の項目をチェックしてみてください。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のステレオ製品および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下の項目をチェックしても直らない場合は、アフターサービスの項をお読みの上、修理を依頼してください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを接続していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードをコンセントへ接続する。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●接続コードの接続がまちがっている。 ●アンテナが接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●確実にアンプのTUNER端子へ差し込む。 ●確実に端子につなぐ。
ステーションコールボタンで選局できない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを1か月以上抜いていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●放送局をメモリーしなおす。
雑音が多い (「ジー」、「ザー」という雑音が多い)	<ul style="list-style-type: none"> ●放送局の周波数に合っていない。 ●アンテナが接続されていない。 <p>FMの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アンテナA/B切換ボタンがアンテナに合っていない。 ●付属のT字型アンテナがたばねたままになっている、またはアンテナの向きが悪い。 ●放送局の電波が弱い。 <ul style="list-style-type: none"> ●電波が弱いのにはRFアッテネーターをONにしている。 ●他の機器の雑音が入る(特に自動車を通ると雑音が入る)またはマルチパスが発生している。(マルチパスとは、放送局の電波がアンテナに直接入るものと、山や高い建物に反射して入るものが互いに影響し合い、音がひずんだり、雑音が出る現象です。) <p>AMの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●付属のAMループアンテナの向きが悪い。 ●付属のAMループアンテナが本機と接触している。 ●放送局の電波が弱い。 <ul style="list-style-type: none"> ●他の機器(蛍光灯やモーターを使っている電気製品など)の雑音が入る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●チューニングボタンで正しい周波数にする。 ●確実にアンテナをつなぐ。 <ul style="list-style-type: none"> ●受信する局の電波の方向に合ったアンテナに切り換える。 ●両端をピンと張り、よく聞こえる方向に向けて固定する。 ●付属のT字型アンテナをFM専用の外部アンテナに交換する。 ●マルチプレックスモードボタンをMONOにする(このときはモノラル受信となる)。 ●RFアッテネーターボタンを押してOFFにする。 ●アンテナの取り付け位置を変えてみる。また、外部アンテナを使用しているときはアンテナの設置場所を道路から離れたり、接続ケーブルを75Ωの同軸ケーブルに変える。 <ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの方向を変えて、よく聞こえる位置にする。 ●ループアンテナを本体からなるべく離す。 ●AM外部アンテナを設置し、接続する。またアース線をつなぐ。 ●雑音を発生させる機器の使用をやめる、または遠ざける。
放送がステレオなのに、ステレオにならない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電波が弱く、アンテナの入力が不足している。 ●放送周波数に正しく合っていない。 ●マルチプレックスモードボタンがMONOになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外の専用アンテナに交換する。 ●正しい周波数に合わせる。 ●スイッチをAUTOにする。
リモコンがきかない。	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンに電池が入っていない。また電池が消耗している。 ●本機と距離がありすぎる。または角度が悪い。 ●本機との間に障害物がある。 ●蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電池を入れる。または新しい電池に変える。 ●リモコンは本機との距離が約7m以内、前面パネルとの角度が左右にそれぞれ約30°以内で操作してください。 ●リモコンの操作場所をずらすか、障害物をとり除いて操作する。 ●蛍光灯をリモコン受光部から離す。

●落雷、静電気等、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチをON/OFFするか、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより、正常に動作します。

アフターサービス

■保証書 (別に添付してあります。)



保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●保証期間はご購入日から1年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービス等について おわかりにならないとき

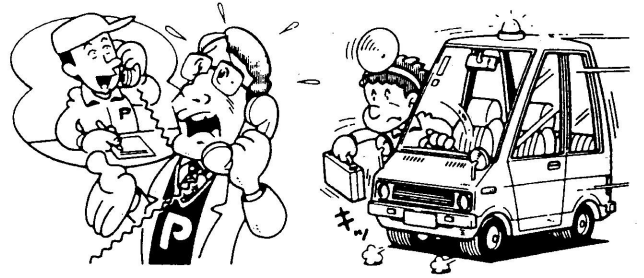
本機に関するご質問、ご相談はお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター(IC)をご利用ください。所在地、電話番号は付属の「サービス窓口、ご相談窓口」をご覧ください。

製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5~6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

■修理を依頼されるとき



もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認の上、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

●保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。またはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って修理致します。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・型番・ご購入日(製品名:F-777)
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物、公園など)

●保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

FMチューナー部

受信周波数	76~90MHz
実用感度	モノラル: 9.3dBf (0.8 μ V/75 Ω)
SN比	モノラル: 100dB ステレオ: 92dB
高調波歪率	モノラル: 0.008% (100Hz) 0.003% ((1kHz) 0.01% (10kHz) ステレオ: 0.01% (100Hz) 0.008% (1kHz) 0.05% (10kHz)
キャプチャレシオ	0.8dB
実効選択度	75dB (400kHz, NORMAL) 90dB (400kHz, SUPER NARROW) 75dB (300kHz, SUPER NARROW)
ステレオセパレーション	1kHz: 70dB 20Hz~10kHz: 54dB
周波数特性	20Hz~15kHz ± 0.5 dB
イメージ妨害比	80dB
IF妨害比	100dB
AM抑圧比	80dB
スプリアス妨害比	80dB
サブキャリア抑圧比	65dB
ミュート動作レベル	23.2dBf (4 μ V/75 Ω)
アンテナ	75 Ω 不平衡型
出力端子(出力レベル/出力インピーダンス)	
FM(100%変調)	666mV/900 Ω

●上記の数値は新IHF法による測定です。

AMチューナー部

受信周波数	522~1629kHz
実用感度(付属ループアンテナ)	150 μ V/m
選択度	± 9 kHz: 40dB
SN比	50dB
イメージ妨害比	40dB
IF妨害比	60dB
アンテナ	ループアンテナ(付属)
出力端子(出力レベル/出力インピーダンス)	
AM(30%変調)	150mV/900 Ω

電源部・その他

電源電圧	AC100V, 50/60Hz
消費電力(電気用品取締法)	14W
スタンバイ時消費電力	5.4W
外形寸法	440×86×334mm
重量	4.0kg

付属品

リモートコントロールユニット	1
単4乾電池(R03/UM-4)	2
FM T字型アンテナ	1
AMループアンテナ	1
ピンプラグ付き接続コード	1
変換プラグ	1
サービス窓口・ご相談窓口	1
取扱説明書	1
保証書	1

●上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。